



障がい者の方のための 夏季パソコン講座開催

CTF 松阪恒例の夏季パソコン講座がはじまりました。

先月は、「パソコンで作って楽しむコース①」として、節電の必需品である「うちわ作り」をテーマに、受講者の皆さん、オリジナルな図案のうちわ作りに取り組んでいただき、下の写真のような素敵なうちわが完成しました。

今月は、「パソコンで作って楽しむコース②」として、卓上に置く可愛い来年のカレンダーを作ってください。

また来月 10月3日(月)、17日(月)、24日(月)には、サポート従事者スキルアップ研修会を開催します。日ごろ障がい者の方の IT サポートに従事されている会員の方、これからやってみようかと思っておられる会員の方、ぜひご参加ください。お問い合わせと参加申し込みは CTF 松阪事務局までお願いします。



医者との会話 (その1)

先生、××病院と〇〇クリニックと、△△医院にお世話になっています。これが今飲んでる薬です。飲む薬が多すぎるのではとても心配です。いかがでしょうか？

はい、・・・うむ、多いようですね！ ではお薬出しておきましょう。

これが今までの薬を効かなくするお薬です、こちらが薬に対する不安感を和らげるお薬です、こちらが薬の飲み忘れを防止するお薬ですしっかり飲んでくださいね、ではお大事に。

医者との会話 (その2)

先生、このごろお薬を飲み忘れることが多いのですが・・・。

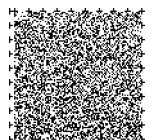
そうですね、病気の症状が軽くなってくると病気のことを忘れていて飲み忘れることもよくありますよ。どんな薬ですか？

はい、このお薬です。

あっ、これですか・・・「物忘れを改善するくすりですね！」もう1種類別のお薬も出しておきましょう。

W・H

今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





98 はプロセスの管理とメッセージ駆動に問題が（1）

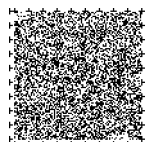
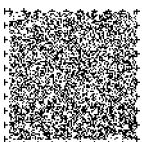
Windows 98 と NT 系はどちらも「プリエンプティブなマルチタスク/マルチスレッド」を実現している OS ですから複数のアプリケーションを並列実行する仕組みを備えています。しかし実際に「Web サーフィンをしながら DVD を再生する」といった作業をやってみると、Windows 98 ではどうしても一瞬もたつく感じが出てしまう。このような違いが出る理由は、たとえ同じ処理を実現していてもその仕組みが全くの別物だからなのです。これは Windows 98 が Win16 との互換性を維持した結果、避けられなかった問題といえます。

Windows 98 では実行されるアプリケーションごとに独立したメモリー空間が与えられます。これはメモリー空間をすべて共有していた Windows 3.1 の時代からは大きな進歩です。Windows 98 ではアプリケーションが起動されると OS がそのアプリケーションのプロセスを生成し、これに独立したメモリー空間やファイル・ハンドルなどを割り当てるので、同時に実行されている他のアプリケーションとは違うリソースを持つことになります。もしファイルのような1つの資源を複数のアプリケーションが同時に取り合うようなことがあったとしても、Windows 98 のシステムがその調停をします。

Windows の「マルチタスク」はアプリケーションとシステムがメッセージのやり取りを行うことで実現されます。例えば、キーボードやマウスなどをユーザーが操作すると、その操作(イベント)に対応したメッセージがシステム内部にある「メッセージ・キュー」に格納されていきます。このメッセージは発生した順番にアプリケーションへ渡され、アプリケーションはそのメッセージの内容に応じた処理を行います。例えば、ウインドウのボタンがクリックされると、クリック・メッセージがアプリケーションに渡され、それに対応するプログラムが実行される。といった具合です。

処理が完了したらアプリケーションは制御を Windows に戻し、次のメッセージがキューから取り出され、そのイベントが発生したアプリケーションへ渡されます。このように「メッセージにより処理が順番に実行されていく方式」を「メッセージ駆動方式」と呼びます。そしてこれこそが Windows 3.1 以降すべての Windows が採用しているマルチタスクの手法なのです。

つづく



活動報告

【8月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(2日、9日、23日)

障がい者の方のための夏季パソコン講座
(1日、8日、22日)

訪問ITサポート
(25日)

活動予定

【9月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
6日、13日、20日、27日
各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

障がい者の方のための夏季パソコン講座
5日、12日、26日
各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記

紀乃國屋 (きのくにや)

今月は下村町の三重高通り沿いにある「そばの紀乃國屋」を訪ねました。

テーブル席が2つとカウンター席が5席ほどの小ぢんまりとした小奇麗な店内です。

ここの蕎麦は十割蕎麦だそうです、そんなにぼそぼそとしてなくて適度なこしがあり美味しかったです。

店の一角には蕎麦打ち場があって、運がよければご主人が蕎麦打ちされているのが見られるかもしれません。

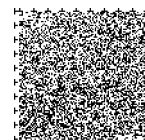
写真は、ざるそば 750円(上)
梅おろし蕎麦 1,150円(下)
(夏季限定メニューです)

所在地：松阪市下村町 1044-8

電話：0598-20-1748

営業時間：11:30~14:30 17:30~20:30

定休日：毎週火曜日



先日「認知症サポーター養成講座」が同地区内の公民館で開催されましたので受講してきました。

認知症サポーターとは、特別なことをする人というわけではなく、認知症についての知識や理解を深め、日常生活の中で、認知症の方が困っているのを見かけた時に、声をかける等、ちょっとした心配りをするのが主な活動なようです。なお、講座を修了すると、認知症を支援するサポーターの「目印」として、オレンジ色のブレスレット「オレンジリング」がもらえます。



「認知症サポーター養成講座」の内容は、認知症の正しい理解と認知症の方への接し方が中心で、認知症とはどのようなものなのか、また、認知症の方にはどのように接したらよいかということを中心に、DVDによる映像などを交えながらの座学で90分間ぐらいでした。

認知症(かつては痴呆と呼ばれていた)は誰もがなりうる脳の病気に起因するもので、脳の細胞が壊れるあるいは死んでしまうことにより、脳の働きが低下し、生活することに支障が出る症状のことです。具体的には、経験したことや自分がしたこと自体を忘れる、自分が今どこにいるのかわからなくなる、計画を立てて物事を進めることができなくなるなどがあげられます。単に老化に伴って物覚えが悪くなるといった誰にでも起きる現象は含まず、病的に能力が低下するもののみをさします。また9割近くが65歳以上の患者とのことでした。

うっやばいです！もうすぐ対象年齢、最近人の名前が思い出せないとか、物の名前がすぐに出てこないのでもアレですましている。漢字はPCを使うようになってから書けなくなっているし本当にやばいです。受講者全員対象年齢に近いかそれ以上なので、もうすでに認知症になっているかもというか、どうしたらよいのとばかり質問攻めです。結局は少しでも脳を活性化させるための訓練、たとえば数日前の日記をつけるとか、声をだして本を読むとか運動してねということでした。

なんだか面倒な様相なのでこのまま放置、ずぼらな毎日をすごしております。うちの親父も年なので認知症の様相を呈していますが(特に都合の悪い時には物忘れがひどくなりますが)お互いに話をしていると落語の八つぁん・熊さんの会話になっていることがあるので我ながら笑ってしまいます。

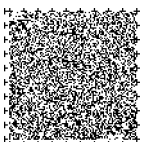
みなさまもPCに向かってキーボードをカタカタ叩いて脳の活性化を促進し認知症防止に役立ててください。効果の程は保証できませんが…

UP



編集後記

厳しい暑さの今年の夏も過ぎ・・・
少し肌に優しい秋の風を感じる
9月、子供達も夏休みが終わり、2学期が始まりました。私どもCTFも皆さんと一緒に、2学期を始めたいと思います・・・お月見で秋を楽しんだり・・・敬老の日で長者を敬ったり・・・又美味しい物も沢山出てきます・・・素敵な秋を皆さんも満喫してください。



CTF 通信第 102 号

2011年(平成23年)9月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

